



おもと

2021年
秋号



表紙：大浜第二病院 リハビリテーション科 作業療法 かりゆし会作品
 かりゆし会：沖縄の年中行事を中心として、談話やアクティビティー、スポーツレクリエーションなどの活動を行う場。

十五夜とは、一年で最も美しいとされる「中秋の名月」(秋の満月)を鑑賞しながら、自然の恵みに感謝する行事のことです。満月は年に12～13回見ることができますが、中でも特に月が綺麗な夜のことを十五夜とよびます。この日はお月見団子や収穫した作物などをお供えし、自然に感謝するとともに、翌年も収穫に恵まれるようお祈りするのが通例となっています。十五夜の定番といえば、やっぱりお月見団子ですね。まんまるなお団子を「お月様」に見立てて、感謝の気持ちを表します。また収穫できたことへの感謝から、「芋」に見立てているという説もあるようです。

十五夜は「新暦9月7日～10月8日の間で満月が出る日」と決められており、2021年の十五夜は、9月21日(火)です。皆様、9月21日の十五夜は満喫できましたでしょうか？

(住空間提案サイト ASTAS抜粋)

大浜第二病院基本理念

- ① **社会貢献**
患者様・ご家族の安全、安心、納得、満足 頂ける医療を提供する。
- ② **人材育成**
医療人としての心・知識・技術を育み、日々研鑽を積む。
- ③ **全人間的医療**
人の尊厳と自己決定の原則に基づき、その人にふさわしい生き方を共に考える。
- ④ **在宅支援**
地域包括ケアシステムの中核として、リハビリテーション活動を展開し、患者様の自立支援と在宅医療を推進する。

医療情報

回復期リハビリテーション病棟 専従医師の仕事

回復期リハビリテーション病棟専従医師 石川 哲也



回復期とは、脳血管障害や骨折の手術のため、急性期病院で治療を受けて、病状が安定し始めた発症から1～2か月後の状態です。この時期に集中的なリハビリテーションを行うことで、低下した能力を再び獲得するための病棟が、回復期リハビリテーション病棟（以下回復期リハ病棟）です。

当院の6階回復期リハ病棟では、患者様が入院後、リハビリテーション総合実施計画書を作成し、医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー等が協働で集中的なリハビリテーションを提供しています。当病棟は60床で、医師3名で、患者様20名ずつ担当しています。当病棟における平日月曜日から金曜日の業務スケジュールは、午前は、9時から病棟回診、9時30分頃から患者様の退院時期を考えるカンファレンスを行います。10時過ぎには、当日入院患者様が来院され、医師が診察し、看護師が血圧等のバイタルサイン測定を行います。その後、11時頃から医師、看護師、介護士、理学療法士あるいは作業療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーが立会い、入院患者様の体の動きを確認後、入院診療計画書を作成、入院患者様のご家族へ計画書の内容を説明し、同意を得ます。午後は、2時から3時30分頃まで、当病棟入院中患者様のご家族が来院されて、定期と退院前のカンファレンスを行っています。

専従医師としての仕事は、日々の入院患者様の割り振りを行っています。入院中の患者様が、体調不良で急性期病院へ転院する時があり、その時は、ソーシャルワーカーと連絡を密にとり、翌日以降の入院患者様の割り振り調整も行っています。また、他2名医師が外来業務時は、副主治医として、患者様の診察対応もしています。

私は、平成26年に回復期リハ病棟専従医師の研修会に参加しました。望まれる回復期リハ病棟の医師とは、①チームの一員として治療を進めることができる協調性がある、②チームを率いるリーダーである、③患者様、ご家族からの信頼がある、④医学的管理能力がある、⑤リハビリテーションの知識が豊富である、上記を兼ね備えた医師が望ましいとの講義がありました。私も、これらを目指して、回復期リハ病棟専従医師として、仕事を続けていきたいと思っています。

部署紹介

部署紹介5東



5階東病棟は「特殊疾患病棟」として主に重度意識障害のある患者様やパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病とよばれる疾患を対象とする長期療養型病棟です。

人工呼吸器を装着されている患者様をはじめ、日常生活全般の援助を必要とされる患者様が全体を占めます。褥瘡（床ずれ）のある患者様にはエアマットの選定を行い毎週、褥瘡の評価を行い、患者様にあったケアをスタッフ一丸となって実践しています。また、様々な合併症を予防するためにこまめな吸引を行わない、時にはBedからはなれ、車椅子で過ごしていただいています。そして看取りを迎えられる患者様にとって、私達は聞こえぬ声に耳を傾け、動かぬ手足に触れながらQOL（生活の質）を最期まで最大限に保ち、その人らしく生きられるよう、ご家族とともに寄り添い、色々な思いを分かち合い、支援ができる病棟づくりを目指しています。

新型コロナウイルス 関連情報



大浜第二病院 ワクチン接種事業

当院では医療従事者向けの新型コロナウイルスワクチン接種が4月より開始されました。

当院は医療・保健・福祉複合施設『おもととよみの杜』に属し、介護老人保健施設や特別養護老人ホームが同施設内にあります。おもととよみの杜全体で感染対策を行い、ワクチン対策チームを立ち上げ、ワクチン接種事業も施設間で連携しながら取り組んできました。安全にワクチン接種がすすめられるようこれからも尽力していきます。



第1番目の接種は
田中院長でした！

新型コロナウイルスワクチン集団接種

沖縄県内でも新型コロナウイルスワクチン集団接種がスタートしました。

5月の豊見城市をはじめ、南部地区管内、職域接種の会場へ当院職員が派遣されました。医師、看護師、薬剤師の3職種が院内でのワクチン接種事業で培った知識と経験を元に、地域のワクチン接種事業に貢献することができました。



注意 ワクチン接種後の感染対策について

ワクチン接種をした人は血液の中に防御抗体ができ、新型コロナの発症を抑えると言われていますが、のどの粘膜の防御抗体を産生する作用は弱いとされており、ワクチンを受けても新型コロナに感染する可能性（ブレイクスルー感染）は十分にあります。

この場合には、発症しなかったり、症状は弱かったりしますが、のどのウイルスを他の人に移す可能性があるため、引き続き、マスク着用や手指消毒などの感染対策を行うようにしていきましょう！！

外国人留学生の受け入れについて

近年、日本国では介護職不足が続いている現状です。

おもと会でも介護職が不足しているため、外国人雇用に力を入れ、留学生を採用しています。当院でもネパール出身の留学生を8名採用しました。彼等はおもと会の介護福祉学科に通学し、仕事と学業を両立させながら日々努力しています。慣れない環境で切磋琢磨しながら頑張っているところです。

最近先輩たちの指導のもと介護技術も上達し、患者さんとの関りも上手くなり、日本語でコミュニケーションも取れるようになってきました。

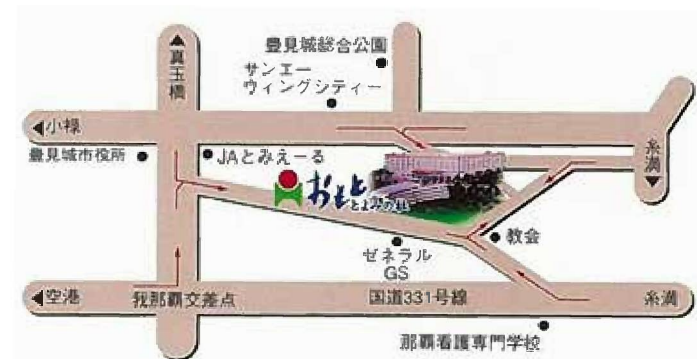
2年後の国家試験合格を目標に自己研鑽していくことを期待します。



編集後記

5階西病棟 玉那覇

残暑の中、涼しさを感じられる季節になりました。
生活様式も変化し不自由な日々が続いていますが、自分の楽しみを増やし、気分転換を図って過ごしましょう。
日々、新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりです。ご自愛ください。



職員募集!!

私たちと一緒に働きませんか。ブランクのある方でも復職支援研修でサポートします。主婦の方・中高年の方も大歓迎！お電話ください。

募集職種：看護師、准看護師、介護職員、調理スタッフ

TEL 098-851-0103 (総務課)



おもと会グループ
リクルートサイト